

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 736 号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

9

2017

平成29年
9月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針	4
第23回北海道青年印刷人フォーラム・ 平成29年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会案内	5
「勝ち残り合宿ゼミ」(第6期生)参加者募集案内	5
平成29年度共済制度加入拡大キャンペーン案内	6・7
第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集	8・9
平成29年度DTP技能検定案内	10
業界のうごき	10

《表紙》北海道の高い山 No.1 旭岳(2,291m) [9月:上川郡東川町]

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD
FONT
by MORISAWA

280
古紙パルプ配合率30%再生紙を使用

VEGETABLE
OIL INK

GREEN PRINTING JAPAN
P-00023
2016年印刷技術者協会主催
第11回ユニバーサルデザインコンペティション
作品募集案内

CSR
P-00023

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

印刷 燦 燦

LGBT

2017年6月1日札幌市で政令指定都市では初めて性的少数者(LGBT)カップルの関係を公的に認証するパートナーシップ宣誓制度が導入された。

2026年の冬季オリンピック・パラリンピック招致を見据えてのものかもしれないが、これによって札幌に移住する人も増えている。

LGBTとは女性同性愛者(レズビアン、Lesbian)、男性同性愛者(ゲイ、Gay)、両性愛者(バイセクシュアル、Bisexual)、トランスジェンダー(Transgender)の各語の頭文字をとった表現である。

LGBは同性愛者だけなのでニューハーフ等と違い女装、男装はしておらずオネエ言葉も使わない。

T(トランスジェンダー)は性同一性者と納まらない範囲を指すので多種多様だ。

差別や偏見のため、隠している人が多いが、電通ダイバーシティ・ラボの「LGBT調査2015」によると、LGBTを自認する人は全体の7.6%、これは左利き、AB型の人が日本人に占める割合とほぼ同じになる

この数字は経営者としては決して無視できない数字で社員の中にLGBTの人がいてもおかしくない。またこの人たちが消費する市場はレインボー市場と呼ばれその規模は約6兆円といわれており印刷市場(約5兆5千億)を上回る。

好きになる対象が少数派という事で偏見を持たれるという点ではオタクとよばれる人達と近いものがある。昔は蔑まれていたが今はサブカルチャーやアイドル市場など世界的に認められるところまで成長している。

このLGBTの認知度もあがっており、近い将来社会的に認知され、隠していた人達が表に出てくると新たな市場を作り出す事は十分に考えられるので、偏見による盲目にならず、理解を深めて行く事が必要な時期に来ているのではないだろうか。

北海道印刷工業組合理事、経営革新・マーケティング事業委員長 矢吹 英俊
株式会社ホクラミ 代表取締役

官公需取引改善に大きな前進 「知財権に財産価値認める」

業界活動が結実

「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」（以下、基本方針）が、7月25日に閣議決定された。

新たに講じる措置の1つとして、「知的財産権の取り扱いの明記」のなかに、「知的財産権の財産的価値について十分留意した契約内容とするよう努めるものとする」という表現が加わった。

全印工連などの働きかけにより知的財産権の適切な取り扱いに関する要望が受け入れられ、今回の基本方針の改定につながった。

また、今後、中小企業庁から発表される基本方針の解説には、「知的財産権の利用範囲の明確化」や「コンテンツ版バイ・ドール制度の活用」といった内容も盛り込まれる予定である。

全 日本印刷工業組合連合会と全日本印刷産業連盟が以前より官公需取引における著作権の適切な取り扱いを要望していた。

全印工連は、昨年5月18日開催の自由民主党中小印刷産業振興議員連盟（中曽根弘文会長）の総会で、官公需取引に関して、①中小企業者に関する国等の契約の基本方針の徹底遵守、②低価格競争防止策の導入、③財産権の保護の3つの要望を提出していた。

その後、③財産権の保護は、経済産業省がコンテンツ産業強化対策支事業（全印工連が受託）を行い、実態把握に努めつつ、知的財産権の適切な取り扱いの検討を進めた結果、今回の基本方針の改定につながった。

全印工連では全印政連と連携して活動してきたことが今回の改定に結び付き、事業者団体活動の大き

な成果であるとしているものの、実効性が伴わなければ画餅に帰する恐れがあることから、実行性を高めるため、今後のこの改定内容を周知・啓発するための説明会や勉強会を開催し、組合員への理解を深めるための活動を展開するとともに、国に対して総務省を中心に全国の地方自治体に対し、基本方針遵守の徹底を図るよう求めている。

さらに、総務省の積極的な活動を後押しするため、中小印刷産業振興議員連盟にさらなる支援を求めていく予定である。

官・民の取引条件は、民・民の取引に波及するため、この機会を逃さず47都道府県工組を巻き込んで知的財産権の適切な取り扱いを広げるための活動に注力していく。

第23回北海道青年印刷人フォーラム 平成29年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会 のご案内

北海道印刷工業組合青年部事業委員会は、第23回北海道青年印刷人フォーラムならびに平成29年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会を開催する。

今回は、前期に引き続き事業推進テーマは「未知の創造」である。製造業から情報価値創造産業への転換、また両利きの経営（知の探索と深化）からの異業種とのイノベーションが急務であると定義している。

そして今期は、より実践的に深掘りしていくために全国中小企業青年中央会との連携を深め、そこで両会の加盟企業によるビジネスマッチングを実現する

ことで、双方の持つ顧客や技術といったさまざまなネットワークを結び付け、一業界だけでは生まれ得ない「サービス」「アイデア」「商品」「技術」「情報発信力」を実現させ、大手企業には真似のできない競争力を創出するキッカケにしたいと考えている。

今回の協議会は、セミナーをはじめ、ワークショップまた中小企業庁がサポートする「新連携支援」についても触れながら進めていく予定である。

開催日時	平成29年9月23日(土) フォーラム/13:00~17:00(受付12:30~) 懇親会/18:00~20:00(会場は当日案内)
開催場所	道特会館 6階 中会議室 (札幌市中央区北2条西2丁目26番仲通東向き TEL011-251-8506)
プログラム	挨拶 全青協議長 恵 勇人 氏 「未知の創造」ビジネスマッチングセミナー 全青協副議長 東海林正豊 氏 チームビルディング/ワークショップ
会費	フォーラム: 2,000円 (レジュメ代・運営費)/懇親会: 6,000円

※参加申込書は、北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) からダウンロードできる。

「勝ち残り合宿ゼミ」(第6期生)参加者募集のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「勝ち残り合宿ゼミ」と称し、組合員の50%以上にあたる中小規模の印刷会社の皆様とともに「なぜ苦しいのか?」、「なぜ儲からないのか?」を具体的な数値管理と客観的な分析の方法を学ぶため、合宿形式のセミナーを開催する。

このゼミでは、厳しい状況下で苦勞されながらも、「将来の見通しは不安だが頑張る」、「他地区であればお互いに情報交換をしたい」という若手経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方々

に業界を取り巻く厳しい環境変化にも耐えうる自社の正確な立ち位置の把握と経営にとって最も必要な利益計画に基づく経営計画を講義と演習で学ぶことができる。

日時	平成29年12月1日(金)~2日(土) [1日]12:30受付/[2日]15:00解散
会場	湯の山温泉グリーンホテル (三重県三重郡菟野町千草7054-173 電話059-392-3111)
参加費	35,000円 (テキスト・宿泊・懇親会費、税込)
対象	経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方で、年齢・事業規模は問わず1社2名まで
講師	プリ・テックグループ 代表 高井昭弘 氏 (全印工連相談役) 株ウエマツ 代表取締役社長 福田浩志 氏 (全印工連経営革新マーケティング委員長)
定員	20人 (先着順) 申込締切日 平成29年11月17日
持参する物	冊子「印刷産業経営羅針盤」(事前購入のこと) 会社案内、直近の決算書、電卓、自社の代表的な事例 (印刷サンプルなど)

※詳細・参加申込は、http://www.aj-pia.or.jp/pdf/kachinokori_6nd.pdfを参照。

平成29年度共済制度加入拡大キャンペーン

生命共済、設備共済、医療・がん共済

全印工連は、全国組合員の相互扶助に基づく共済事業として生命共済、設備共済、医療・がん共済、災害補償共済、経営者退職功労金制度の5つの共済制度を実施している。

これらの共済制度は、全国規模のスケールメリットにより、一般の保険と比べて割安な掛金で福利厚生や経営安定に役立つ制度として、いずれも多く組合員企業に利用いただいている。

企業にとって人や設備は大切な資産であり、従業員の死亡・入院や労災事故、突発的な事故による機械設備の故障など、不測の事態に備えるための共済制度は必要不可欠なものである。

また、割安な共済制度を利用して保険の見直しを行うことは効率的な経費の節減にもつながる。

全印工連では、本年度、5つの共済制度のうち、生命共済、設備共済、医療・がん共済の3つに焦点を絞り、「共済制度加入拡大キャンペーン」を実施する。

本年度、北海道は、共済制度加入拡大の重点工組の指定を受け、9月から「平成29年度共済制度加入拡大キャンペーン」を実施する。

キャンペーンの実施にあたり、「生命共済」の推進担当会社として第一生命保険株式会社、「設備共済」と「医療・がん共済」の推進担当会社として共立株式会社と連携して募集活動を行っている。

■キャンペーンを行う共済制度

○「生命共済制度（ライフピア）」

経営者や従業員の方の死亡・高度障害のほか、不慮の事故による障害や入院について、割安で大きな補償を得られる制度。

○「総合設備共済制度（せつび共済）」

機械設備事故による損害を補償する制度。オプションにより全国規模で発生している風水害や地震災害による補償にも対応。

○「医療・がん共済制度」

疾病・障害による入院や所定の手術を受けた場合や三大疾病で入院した場合に補償する医療保険。平成26年からがん補償が追加。

■キャンペーン推進会社連絡先

〔生命共済〕

第一生命保険株式会社札幌総合支社
営業推進グループ（法人担当）

課長：佐藤由紀典

電話（011）241-3141 FAX（011）209-0323

〔設備共済、医療・がん共済〕

共立株式会社札幌支店

支店長：岡田 亮

電話（011）281-5705 FAX（011）222-1927

各共済制度の特長

生命共済制度（ライフピア） 昭和51年4月発足

死亡・高度障害の他、不慮の事故による障害や入院について、24時間保障する共済制度です。新規加入は70歳まで加入でき、75歳まで保障が継続されます。また、掛金の個人負担加入や配偶者の加入も可能です。
平成13年4月から全日本印刷工業組合連合会共済センターを契約団体として運営しています。
契約高は約309億円（平成29年7月現在）。

《おすすめのポイント》

- ★平成20年度より、掛金が安くなり、さらに加入しやすくなりました。
- ★割安な掛金で大きな保障が得られます。掛金は月額男性359円・女性302円から（15歳～35歳、死亡保険金100万円の場合）。
- ★保険金は災害で最高2,000万円、不慮の事故による障害や入院についても24時間保障します。
- ★加入期間を満了された場合には、長寿祝金が贈られます。
- ★企業が掛金を負担する場合、掛金は全額損金または必要経費となりますので、甲慰金・見舞金等従業員の福利厚生制度として役立ちます。
- ★制度の剰余金から、毎年配当金が還元されます。（平成28年度は掛金の40.0%でした）
- ★本制度はいわゆる“掛け捨て”の商品です。“掛け捨て”というと一般的には敬遠されがちですが、“掛け捨て”でない保険は、その分高い保険料を支払うこととなります。予定利率の引き下げなど低金利が続く現在の情勢では、保障と貯蓄は区別して考えるべきであり、保障のみに限定した本制度はむしろ有利な商品と言えます。

総合設備共済制度（せつび共済） 平成7年11月発足

印刷設備をはじめとする機械設備の事故による損害を補償する共済制度です。平成29年7月現在の契約高は約897億円。
オプションを選択すれば、風水害・地震災害による損害も補償されます。

《おすすめのポイント》

- ★一般の機械保険と比較して、掛金は大幅に割安です。（約3分の1の水準です）
- ★偶然な事故が発生した場合でも、修理代が共済金として支払われるため、経営安定に役立ちます。
- ★保守契約の見直しをすることで、経費の節減がはかれます。
- ★掛金は全額損金または必要経費となります。

医療・がん共済制度 平成16年7月発足

当制度は、高齢化社会の到来などによる医療費の自己負担割合増大に対応するため、健康保険制度を補完する目的で発足しました。ムダを省いた割安な掛金で大きな安心を提供するため“入院から退院まできめ細かく補償”をコンセプトに、疾病・障害により入院した場合の入院保険金、入院して所定の手術を受けた場合の手術保険金、三大疾病で入院した場合の重度入院一時金などの基本補償のほか、加入プランによっては葬祭費用保険金や退院後通院保険金などの補償や加入者向けのサービスも用意しています。また、平成26年度7月より、がん補償を新たに追加しました。当制度は平成16年7月1日に加入者100名超で補償を開始していますが、次回平成30年度の更新時期には500名超による団体割引率15%獲得を目指します。（現在は団体割引率10%）

募集は年4回（7月、10月、1月、4月）行っていますので、キャンペーン期間中である10月・1月・4月募集について加入増に努めます。

《おすすめのポイント》

- ★組合員企業の役員・従業員はもちろんのことその配偶者・子供・両親および同居の祖父母孫・その他親族まで加入できます。
- ★病気・ケガともに1日目の入院から補償します。
- ★スケールメリットを活かした割安な掛金です。掛金（医療補償）は月額4,920円（月額わずか410円ほど）から（15歳～19歳、入院保険金3,000円の場合）となっています。
- ★加入時の医師の診査は不要（告知のみ）です。
- ★加入者が多いほど掛金は割安になります（加入者数100名以上500名未満の場合、団体割引10%、加入者500名以上1,000名未満の場合、団体割引15%）。
- ★公的な健康保険制度を補完するための選択肢の一つとして検討してください。

第11回メディア・ユニバーサルデザイン コンペティション作品募集

全日本印刷工業組合連合会は、「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

全日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン (MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取り組みをより強固なものにするために、一般

社会に対してはMUD活動の意義と必要性を広くアピールし、印刷業界においては印刷技術の向上に貢献することを目指して、「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を行っており、今年も「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

一般の方だけでなく、高齢者・障がい者や子ども、外国人などすべての人に対して優しいデザインの実現を目的とする斬新なアイデアに富んだ作品を募集している。

主催 全日本印刷工業組合連合会
後援 経済産業省、一般財団法人国際ユニバーサルデザイン協議会、
(順不同) 読売新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社、
一般社団法人日本印刷産業連合会、
一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会、
公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、
公益社団法人日本パッケージデザイン協会、日本図書設計家協会、
NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会、
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

協力 東洋インキ株式会社、株式会社イワタ、EIZO株式会社
(順不同) 株式会社モリサワ、リコージャパン株式会社、全国印刷緑友会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・SPACE21、日本青年会議所メディア印刷部会

応募期間 2017年8月1日(火)～10月31日(火)

募集作品 カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど
※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。
※特に既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品を広く募る。

応募資格 [一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能
[学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒

応募対象作品 2016年7月以降に制作されたもの

応募方法 作品1点とデータ1点 (CD-Rにai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を出品申込書とともに送付する。
※入選作品に選ばれた場合、提出いただいたデータをもとに受賞作品集の制作を行う。

出品料 応募作品1点につき、一般3,000円 学生は無料

授与賞 [一般の部] 経済産業大臣賞 表彰状・賞金 …………… 100,000円
優 秀 賞 表彰状・賞金 …………… 50,000円
佳 作 表彰状・賞金 …………… 10,000円

授与賞 [学生の部] 経済産業大臣賞 表彰状・図書カード …………… 30,000円分
優 秀 賞 表彰状・図書カード …………… 10,000円分
佳 作 表彰状・図書カード …………… 3,000円分



- 審査日 2017年11月（予定）
- 審査結果発表 審査日より1週間後 入選者にのみ入選通知書を送付
- 審査基準 **a**メディア・ユニバーサルの観点から、見やすさにおいて優れているもの。
b斬新な発想とアイデアにより、独自の新規性や工夫・技法が考慮されているもの。
c色彩構成だけでなく企画・デザイン・素材などの組み合わせにより、メディア・ユニバーサルの配慮がなされているもの。
dそれぞれのメディア（部門）において、実用的かつ機能的なもの。
- 審査委員 伊藤 啓（東京大学分子細胞生物学研究所脳神経回路研究分野准教授）
武者 廣平（NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構理事長）
土生 英彦（色覚問題研究グループぱすてる事務局長）
高橋 正実（MASAMI DESIGN）
橋田 規子（芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科教授）
日原 佐知夫（創造意匠）
伊藤 道裕（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会理事長）
橋本 博（NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会事務局長）
三島 秀夫（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会委員長）
浦久保 康裕（全日本印刷工業組合連合会CSR推進委員会MUD部会長）
経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課担当官
一般財団法人国際ユニバーサルデザイン協議会担当審査員
- 表彰式 2018年2月（予定）
- 知的財産権 (1)応募作品の知的財産権は、応募者に帰属することとする。従って、応募者は応募作品に関して、自ら適切な権利処理を行い、第三者の権利を侵害するものでないことを保証するものとする。
(2)応募作品が第三者の権利を侵害していることが判明した場合、また、類似が認められる場合は、審査対象からの除外、または授賞を取り消す場合がある。
(3)入選作品は展示・公開され、応募作品は各種の印刷媒体・ホームページ等に掲載される場合がある。また、その時に一部の変形および翻案を行う場合がある。
(4)その他、第三者による権利侵害等の紛争が生じた場合、応募者自らが解決することとし、主催者は損害賠償等の責任を一切負わないものとする。
- 注意事項 ①応募作品およびデータは返却しない。
②作品サイズによっては、作品の保管場所や審査会場・展示会場の都合により、実物による出品の受付ができない場合がある。
- 作品応募先 公益社団法人日本印刷技術協会
「第11回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係
〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 電話03-3384-3111/FAX03-3384-3481
- 問い合わせ先 全日本印刷工業組合連合会 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階
電話03-3552-4571/FAX03-3552-7727

平成29年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の平成29年度技能検定製版職種「DTP作業」が実施される。

同職種は、試験内容と実際の業務との乖離が大きかったため、平成26年度と同27年度の2年間、開催を休止していたが、全日本印刷工業組合連合会が中心となり、試験内容の検討・見直しを行い、新たな検定試験に刷新が行われ、昨年より実施が再開された。

DTP作業従事者の皆さまへの教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。

平成29年度後期に実施される製版職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

【平成29年度後期技能検定製版職種「DTP作業」】

受検申請受付	平成29年10月2日(月)～13日(金)
実技試験日程	平成30年1月27日(土)
実技試験会場	北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目）
学科試験日程	平成30年2月4日(日)
学科試験会場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。
受検区分	1級および2級
受検手数料	実技17,900円／学科3,100円 ※35歳未満の2級実技受検手数料は9,000円減額になる。
受検申請・問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

業 界 の う ご き

▶ 十勝支部事務局が移転

十勝支部（野津雅之支部長）は、このたび、事務局を移転した。

〔新住所〕 〒080-0020 帯広市西10条南9丁目7番地 東洋印刷(株)内
TEL090-6509-8667 FAX011-351-5447

▶ 岩崎通信機(株)北海道支店が移転

岩崎通信機株式会社北海道支店（高倉和之支店長）は、このたび、移転した。

〔新住所〕 〒060-0908 札幌市東区北8条東3丁目1番1号 宮村ビル2F
TEL011-733-5011 FAX011-733-5012

▶ エム・ピー・エス(株)が設立

エム・ピー・エス株式会社が、富士フイルムビジネスサプライ株式会社の事業を承継し、9月1日より営業を開始した。札幌営業所（山賀義徳所長）は、下記のとおり。

〔住 所〕 〒001-0012 札幌市北区北12条西3丁目1番15号 N12ビル3F
TEL011-788-3012 FAX011-788-3052

PRINT

PRINT NEXT 2018

2018.2.10 SAT

強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に。

強い会社とはなにかを見出し、次世代に自社が魅力的な会社だと思わせてやる!

コンテンツ ・プリネクアップ 大阪の陣
(ブロック会)

・未来の印刷大賞
・懇親会など (予定)

もう勉強だけじゃ何も変わらない!
自ら考え、実行し、未来を創造する、
プリネク初の超実践型特別企画!!

基本方針 ・強い会社になる為の知識と見識を身につける

・企業を永く継続する為に具体的手法を学ぶ
・共に語り、共に学び、変革をもたらす

会場 大阪府大阪市北区中之島1丁目1-27 <http://osaka-chuokokaido.jp>

主催 PrintNext2018運営委員会 (実行委員長:山本 素之) / 全日本印刷工業組合連合会全国青年印刷人協議会 / 全国印刷緑友会
一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会青年部SPACE21 (順不同)

事務局 〒534-0027 大阪市都島区中野町4-4-2 大阪府印刷工業組合 TEL:06-6353-3035 FAX:06-6352-2360 (担当:平塚)

後援 全日本印刷工業組合連合会 / 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業組合 / 大阪府印刷工業組合 / 大阪府グラフィックサービス協同組合



<https://www.facebook.com/printnext2018>



<http://www.printnext.jp>